**学生時代に身に着けておくべき事　第45弾**

関東学生卓球連盟　会長　鈴木一雄

毎年3月・4月は4年生卒業と新入生入学とクラブ活動のチームは大きく変わる時期となります。皆さんはそれぞれ「縁」があって就職先や入学した大学での生活が始まる訳です、そこでいつも思う事は「縁」とは何かを考えさせられ、今回のテーマとしました。

広辞苑では、「人と人のつながり・関係」で「縁」があるとは、「運命的な関係やそれを感じさせる状態」の事と言う事です。

つまり就職先・入学した大学はそれぞれ運命的な出来事となります

あとはその「縁」を大事にして、以下の点に気をつけるべきしょう。

①自分を成長させる事に注力し努力する

②一流の人は「縁」の正しい扱い方・付き合い方を知っている

　つまり「良縁」の関係を作る→お互い力を奪われる関係ではなく

　力を充電出来る関係を作る

 考え方や目標・生き方・好み等共通する話題があり、一時の食い

　違いも話し合いで和解出来る関係を保つ事の出来る人を友人に

に多くの人の輪を作るつまり価値観・共通点の共有

③現在置かれている環境すべて（大学・練習環境・仲間・これ迄

　生きて来た過程等）に感謝し前向きな（ポジティブ）考え方を持ち

　一段上に成長する為に何をすべきか考え実行する事が大事です。

最後に縁とは「摩訶不思議な物」であり、ことわざにも「縁は異な

もの味なもの」と言われ、出会い（一期一会）や一瞬の感覚で「縁」が生まれたり感じたりもします。

長年生きて「縁」を考えると、深い縁・浅い縁・永く続く縁・一瞬の縁・復活する縁・など様々ですがいずれ「縁」を大事に深く・永く続く「縁あるもの」と考え前向きに付き合っていきたいと思います。